

2015年12月11日（金）配信在クリチバ日本国総領事館メールマガジン 467号

クリチバ治安情報（邦人被害を含むバス強盗事件）

12月12日付、邦字紙ニッケイ新聞は、9日午前1時半頃、北パラナ、カンビラ市で発生した邦人被害を含むバス強盗事件について報じているところ概要を以下の通りお知らせします。

1 発生日時

12月9日（木）午前1時30分頃

2 発生場所

パラナ州カンビラ市内の農道

3 被害者

サンパウロ在住の僧侶2名を含む110名

4 被害品

乗客の貴重品、携帯電話、現金

なお、僧侶2名の被害品は携帯電話、カメラ、電子辞書、現金（400レアル）

5 事件概要

サンパウロ発、パラグアイ行きの長距離バス（車両2台、乗客110名）がパラナ州アラポンガス付近を走行中、武装した強盗団（車両5台、人数不明）に襲撃を受けました。

武装した強盗団は、所持していた銃火器を使用し長距離バスを制止させ、人目のない農道に長距離バスを誘導し乗客の金品を奪い逃走しました。なお、長距離バス及び乗客の身体に被害は無く、警察への被害届け等を終えた長距離バスは目的地のパラグアイに10時間遅れで到着したとのことです。

被害を受けたサンパウロ在住の僧侶2名は、パラグアイのイグアス移住地に新しく建立された禅寺「眞應山拓恩寺」の落慶式に向かうため長距離バスを利用していたとのことです。

<当館からのお願い>

・昨今、長距離バス強盗事件が頻発しています。軍警察の見解ではパラグアイ及びイグアスへ向かう長距離バスの被害が多いとの事です。長距離バスの乗客は主に、パラグアイ国境付近にて大量の商品購入を目的としており、多額の現金を所持しているために犯人の標的となる模様です。皆様におかれましては、移動手段の選定には細心の注意をお願いすると共に、強盗事件に遭遇してしまった際は、犯人を刺激するような言動、態度、急な動作は控え、安易に抵抗はしないようお願い申し上げます。

・万が一このような事件の被害に遭われた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話番号190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話番号197）に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切です。

・被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をおふせた上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。